

患者の皆様へ

2020年12月23日

成田赤十字病院産婦人科

現在、産婦人科では「腹腔鏡下子宮全摘術」に関する研究を行っています。今後の診断・治療に役立てることを目的に、当科で腹腔鏡手術をされた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「腹腔鏡下子宮全摘術の導入状況と教育」

2. 研究の意義・目的

「当院での腹腔鏡下子宮全摘術を後方視的に検討することにより、安全性、合併症の発生頻度、治療予後など抽出し問題点を検討することにより安全でクオリティの高い手術を患者さんに提供することを目的とする。また効率の良い手術の教育方法を検討する。」

3. 研究の方法

当科で2017-2020年に当院で婦人科腹腔鏡手術を施行した患者さんの診療録を抽出し、患者さんの手術時間、出血量、摘出臓器重量、合併症、リスク因子などを後方視的に検討いたします。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しません。データ等は、成田赤十字病院の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、

下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」

(平成26年12月22日)に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 成田赤十字病院 産婦人科

本件のお問合せ先 : 成田赤十字病院 産婦人科 埴真輔